とくしまこどもまんなか大作戦
（徳島県こども計画）

～きみの「ホンネ」をきかせて！～



中学生以上向けアンケート結果

調査の対象と回答者総数

対象：小学生から中・高・大学生等まで

※「小学校低学年向け」「小学校高学年向け」「中学生以上向け」の３つのアンケートを準備。

回答者総数　：　４２７名

実施期間　：　２０２６／６／２９
～２０２６／７／３１

調査の対象と回答者総数

中学生以上 (93名)



【アンケート概要】

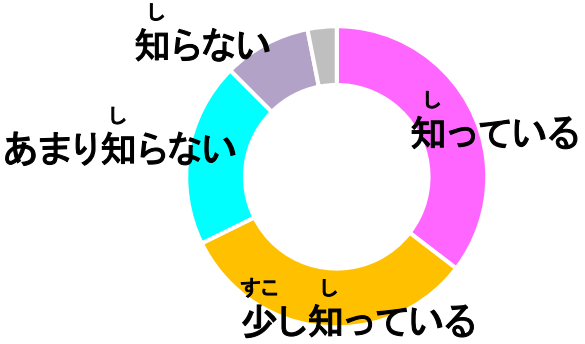
社会との関わり、県の取組への評価、具体的な公的サポート体制への実感など、現実的かつ高度な設問。

中学生	20名	大学生	36名
高校生	35名	その他	2名

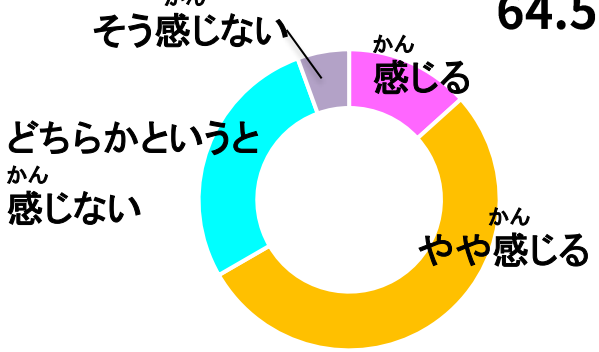
【基本目標1】こどもの権利を大切にします

中学生以上

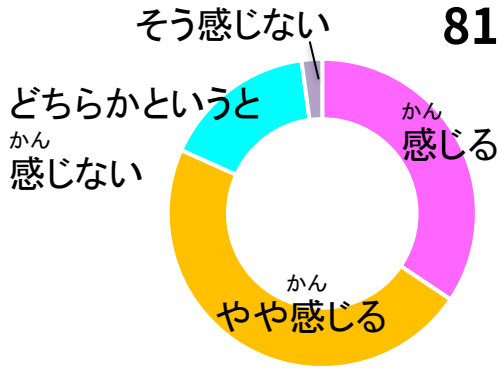
こどもに意見表明の権利があることを「知っている・少し知っている」69.9%



自分の意見をルールづくりへ反映できると「感じる・やや感じる」64.5%



個性や多様性が認められ、尊重されていると「感じる・やや感じる」81.7%



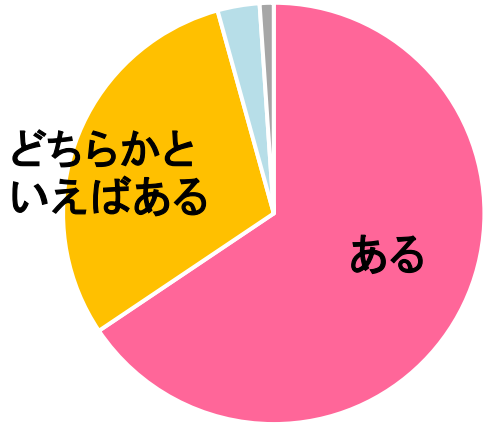
【分析】

権利認知（69.9%）や個性尊重（81.7%）は高い一方、ルール形成への意見反映の実感は64.5%に留まり、意識に差が見られる

【基本目標2】こどもの健やかな育ちを支えます

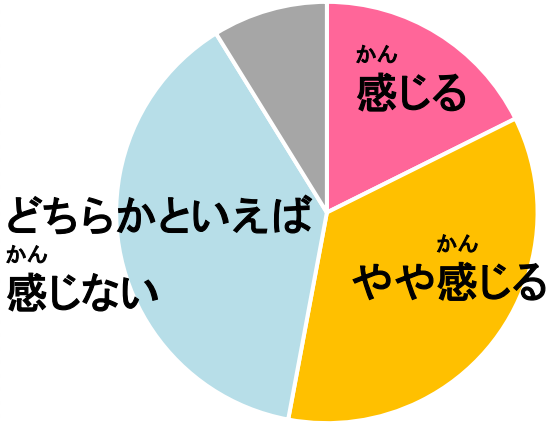
中学生以上

自分らしくいられる居場所があるか



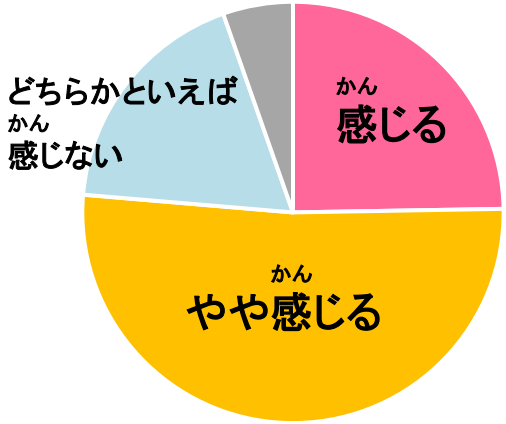
89/93
（ある・どちらかといえばある）

いじめのない環境・不登校サポートがあると感じるか



54/93
（感じる・やや感じる）

多様な特性を理解し支え合えていると感じるか



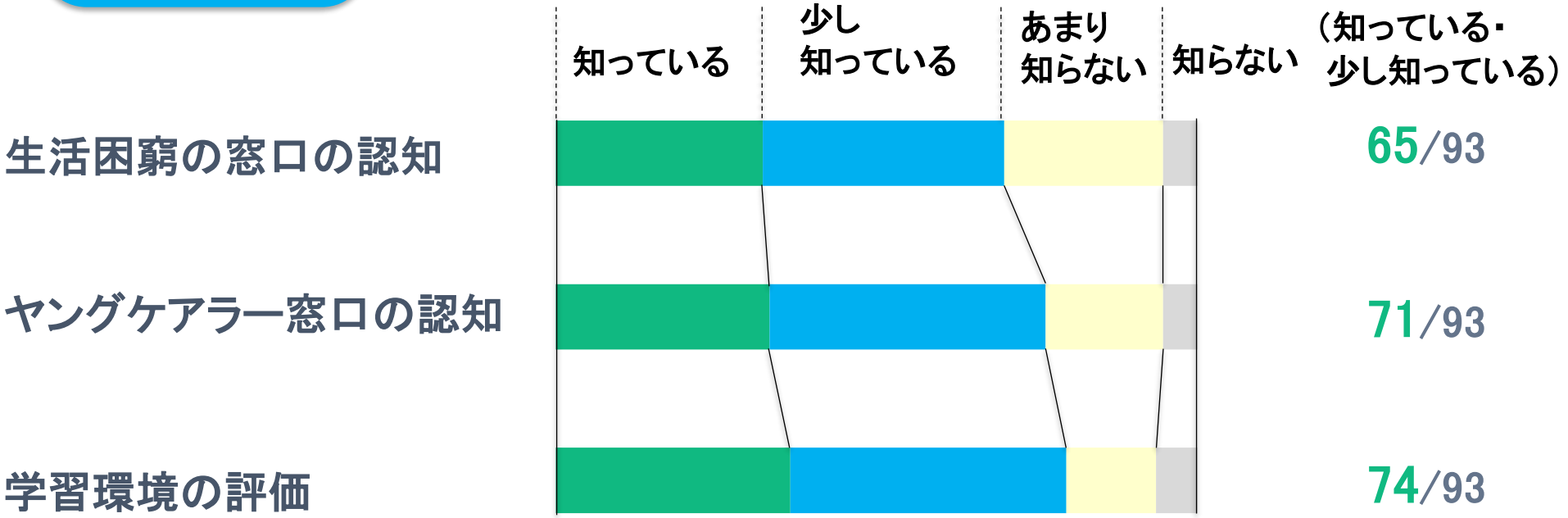
71/93
（感じる・やや感じる）

【分析】

自己の居場所を確保できている割合は95.7%、多様な特性への理解は76.3%に対し、いじめや不登校に対する周囲のサポート体制への評価は58.1%にとどまっている。

【基本目標3】困難な状況にあるこどもを支援します

中学生以上



【分析】

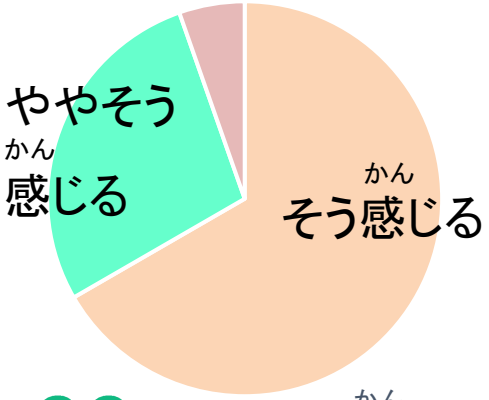
学習環境の肯定評価は79.6%。

生活困窮（69.9%）やヤングケアラー（76.3%）の窓口は一定数認知。

【基本目標4】社会的養育を推進します

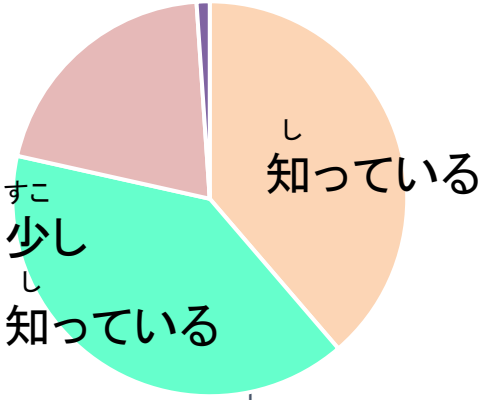
中学生以上

暴力暴言なく守られている



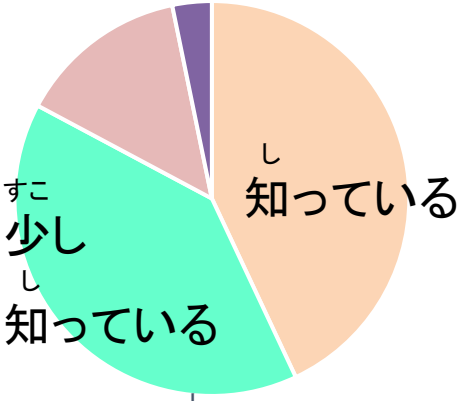
88/93（そう感じる・ややそう感じる）

虐待時等サポートの認知



73/93（知っている・少し知っている）

社会的養護(施設・里親等)の認知



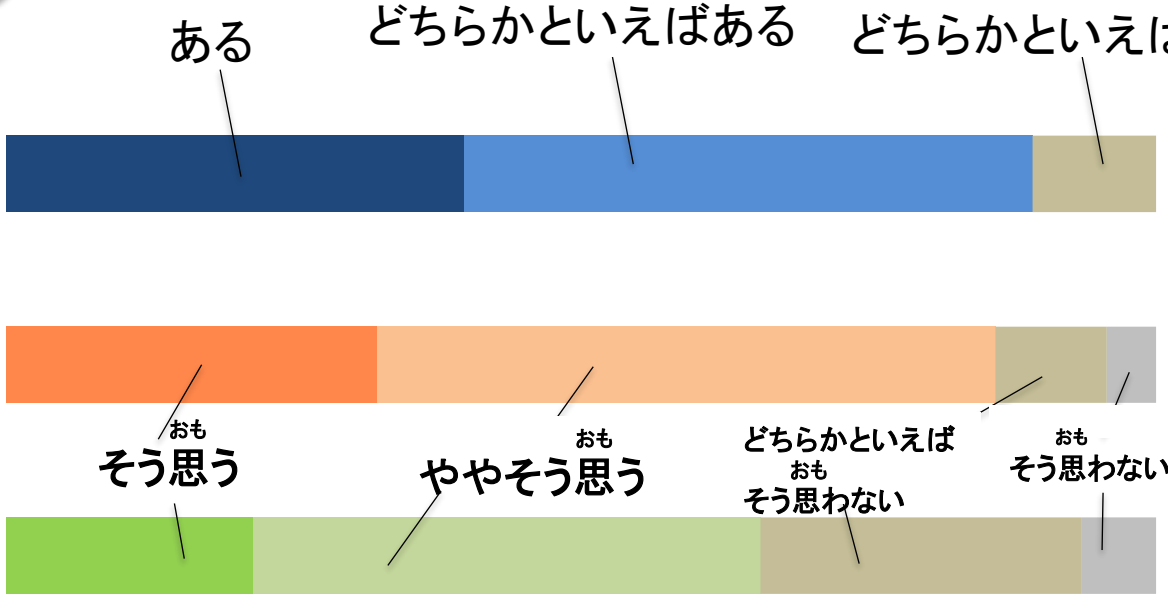
77/93（知っている・少し知っている）

【分析】

暴力や暴言がなく守られているとの実感は94.6%と高く、社会的養護（82.8%）や虐待時等サポート（78.5%）の認知も進んでいる。

【基本目標5】結婚、妊娠・出産の希望が叶う環境をつくります

中学生以上



ライフプランの検討環境への評価
83/93
（ある・どちらかといえばある）

出産医療・サポートへの評価
80/93
（そう思う・ややそう思う）

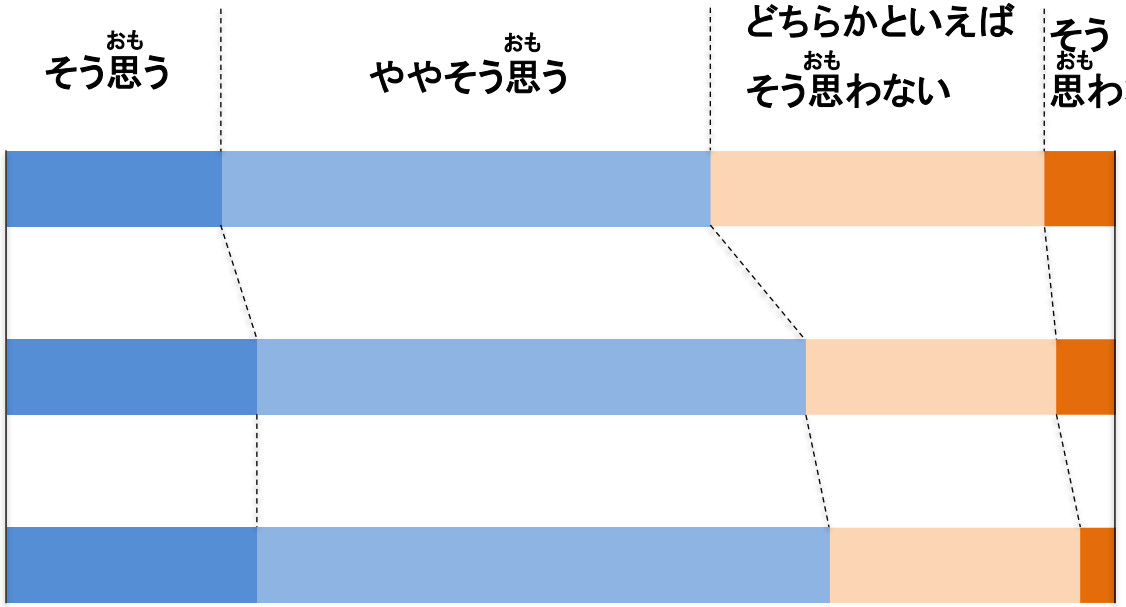
子育て時の途切れないサポートへの評価
61/93
（そう思う・ややそう思う）

【分析】

ライフプランの検討環境（89.2%）や出産環境への安心感（86.0%）は高いが、継続的な子育て支援への安心感は65.6%に留まる。

【基本目標6】子育て支援を充実します

中学生以上



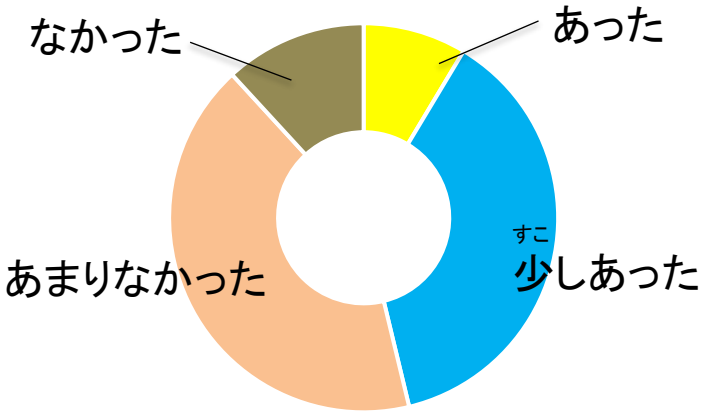
【分析】

お金の心配のない挑戦環境等（63.4%）、仕事と子育ての両立（72.0%）、ひとり親支援（74.2%）の肯定評価はいずれも60～70%台に留まる。

【全体総括】1年間での変化の実感

中学生以上

県がこどもや若者を大事にする取組が進んだ実感があるか

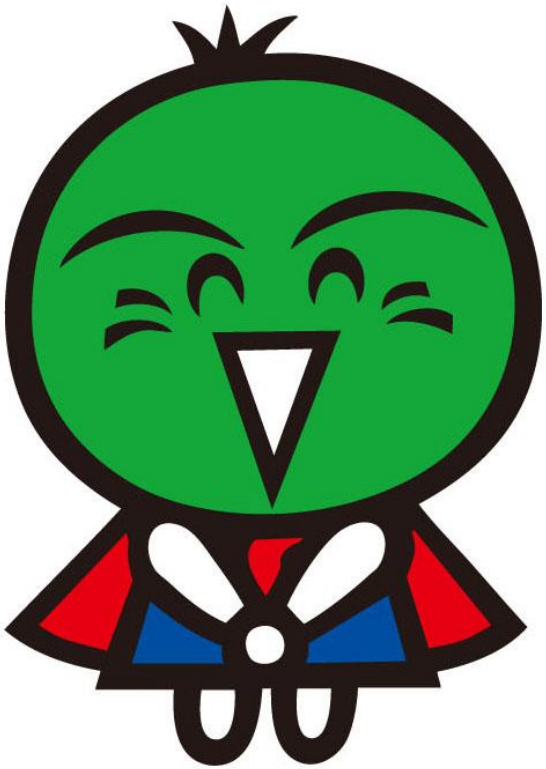


順位	良くなったと思ったこと（あった・少しあったの回答者）	もっと力を入れてほしいこと（あまりなかった・なかったの回答者）
1	自分の意見や自分らしさを大切にしてもらえる機会が増えた	将来に向けたサポートをもっと充実させてほしい
2	将来に向けたサポートが増え、希望が持てるようになった	社会全体をこどもや子育て家庭にとって暮らしやすくしてほしい
3	学校や地域に、安心して過ごせる居場所が増えた	学校や地域に、安心して過ごせる居場所を増やしてほしい

【分析】

「徳島県がこども・若者を大事にしている」との実感を得られていない（あまりなかった・なかった）とする否定的回答が過半数の53.8%を占めている。

取組を評価している層からは「自分らしさの尊重」や「将来サポート」の進展（いずれも48.8%）を理由に挙げる一方、不足を感じている層からは「将来（進学・結婚等）のサポート充実（48.0%）」や「子育て世帯の負担軽減・暮らしやすい環境づくり（38.0%）」といった、より直接的な経済・進路支援を求める声が上位に挙がっている。



みんな、アンケートに
答(こた)えてくれてありがとう。
みんなの意見(いけん)は、県(けん)の
仕事(しごと)にいかしていくよ。
また、アンケートに
答(こた)えてね。